

草剣連発第 1971 号  
令和 2 年 2 月 5 日

各支部長 様

草 加 市 剣 道 連 盟  
会 長 増 田 吉 男

### 第 12 回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会予選会の実施について

このことについて、下記により実施致しますので、多数参加されるようご通知いたします。  
なお、全国大会は令和 2 年 7 月 12 日(日)、奈良県橿原市において開催されます。

#### 記

- 1 日 時 令和 2 年 4 月 5 日(日) 12 時受付～12 時 30 分終了  
午後 1 時開会
- 2 会 場 埼玉県立武道館 主道場  
〒362-0032 上尾市日の出 4-1877 TEL 048-777-2400
- 3 参加資格等 (1) 埼玉県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟登録者規定に適合している者。  
先鋒 高校生  
次鋒 大学生  
中堅 年齢 18 歳以上、35 歳未満の者  
副将 年齢 35 歳以上、45 歳未満の者  
大将 年齢 45 歳以上の者  
(2) 年齢基準は、大会前日 (7 月 11 日) とする。  
(3) 高校生および大学生の資格基準は、大会当日とする。
- 4 申 込 方 法 申し込み先 事務局 坂田政司  
2 月 25 日(火)までに申し込みください。

5 剣道用具の取り扱いについて

- (1)竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径値及び先端より 8cm のちくとう部対角直径値）は、表と図のとおりとする。  
ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更をしたものの使用は認めない。
- (2)小手はこぶしと前腕（肘から手首の最長部）の 1/2 以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ふとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。  
小手ふとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ふとん最長部と最短部の長さの差が 2.5cm 以内である。
- (3) 面ふとん部は安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (4) 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。（構えたときに肘関節が隠れること）

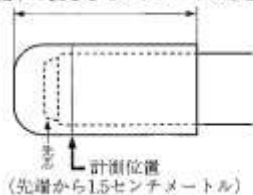
表

		一刀の場合	二刀の場合	
			大 刀	小 刀
長さ		120 c m 以下	114 c m 以下	62 c m 以下
重さ		440 g 以上	400 g 以上	250～280 g 以上
太さ	先端部最少直径	25m m 以上	24m m 以上	24m m 以上
	ちくとう最少直径	20m m 以上	19m m 以上	19m m 以上

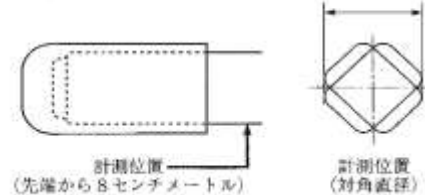
図. 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



6 そ の 他 ・上位3位までの選手はホームページに氏名、全国大会出場選手は写真を掲載します。

- ・名札は加盟団体名とする。ただし、大学剣道連盟から出場する者に限っては大学名の名札を可とする。